

2017年12月期 第2四半期決算説明資料



2017年12月6日
株式会社やまびこ

1. 2017年12月期第2四半期

決算概要	4
------	-------	---

2. 2017年12月期

業績見通し	13
-------	-------	----

添付資料

会社概要など	20
--------	-------	----

決算期を12月31日に変更。第10期（2017年12月期）は9ヶ月決算※1。
 第10期見通しは第9期（2017年3月期）実績を同期間に調整して比較。

<9期－10期 決算短信等財務報告数値>

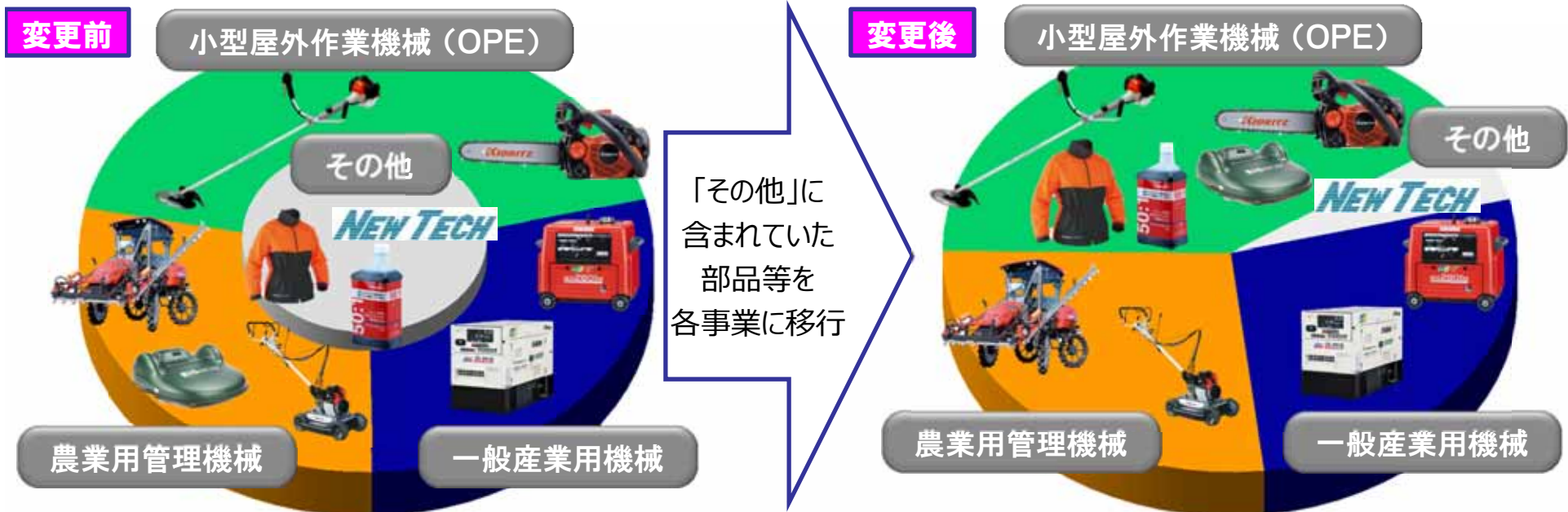
	2016年				2017年			
	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月
12月決算会社 (海外子会社)	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
		第9期				第10期		
3月決算会社 (当社および国内子会社)		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q

<9期－10期 比較参考用調整後数値※2>

	2016年				2017年			
	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月
12月決算会社 (海外子会社)	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
		第9期				第10期		
3月決算会社 (当社および国内子会社)		1Q	2Q	3Q		1Q	2Q	3Q

※1. 3月決算会社は4-12月の9ヶ月間、12月決算会社は1-12月の12ヶ月間となります。第10期の決算は、第2四半期までは海外と国内で3ヶ月の期間のズレあり（従来通り）、第3四半期は本決算となるため、海外子会社のみ第4四半期を合算します。

2. 第9期調整後数値は監査法人による監査は受けておらず参考情報となります。



事業セグメント	主な製品等
小型屋外作業機械 (OPE)	刈払機、チェーンソーなど
農業用管理機械	防除機、畦草刈機、 ロボット芝刈機 など
一般産業用機械	発電機、溶接機など
その他	部品・アクセサリ など

事業セグメント	主な製品等
小型屋外作業機械 (OPE)	刈払機、チェーンソー、 ロボット芝刈機 など、および 関連部品・アクセサリ
農業用管理機械	防除機、畦草刈機など、および 関連部品・アクセサリ
一般産業用機械	発電機、溶接機など、および 関連部品・アクセサリ
その他	上記に含まれない商品など

1. 2017年12月期第2四半期 決算概要

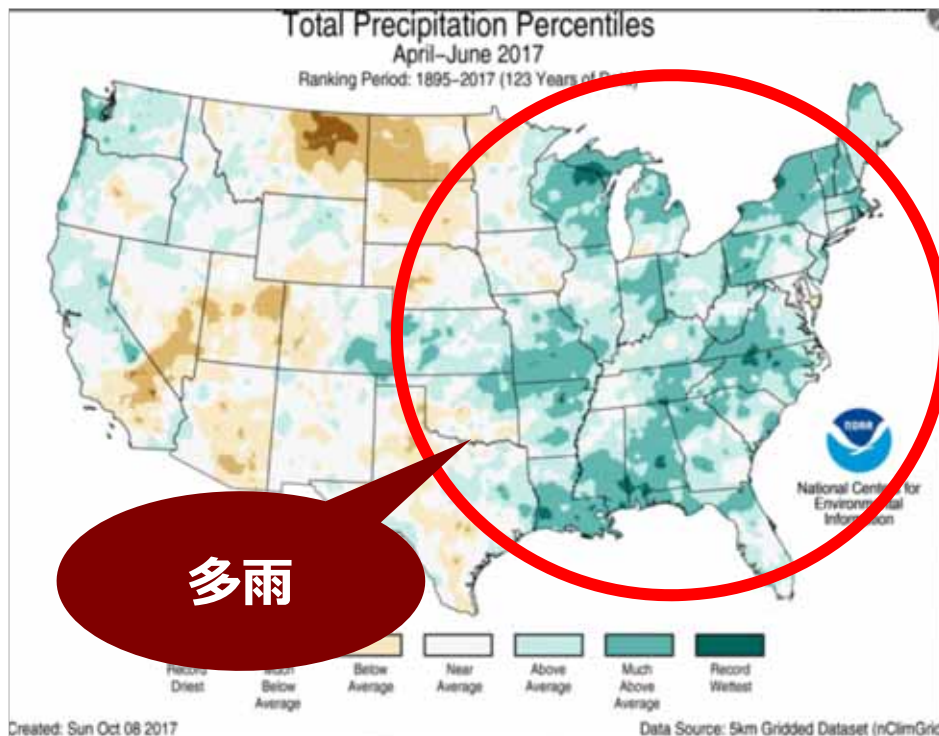
国内は農林ルートは好調を持続し、一般産業用機械も好転。海外は天候不順の影響を受けた北米や西欧は減少したものの、円安やロシアの回復と中国が増加し、全体では増収。

《セグメント概況》 略称「OPE」= Outdoor Power Equipment

市場	セグメント	市場概況	当社
国内	小型屋外作業機械 (OPE)	●チェーンソーは前年並みで推移するものの、天候不順の影響などにより刈払機は減少。	
	農業用管理機械	●前年低迷したトラクタが大型を中心に回復し、天候不順による病害虫対策で防除機も増加するなど、4-9月の農業機械出荷額が前年比3.1%増（日本農業機械工業会）とプラスで推移。	
	一般産業用機械	●排出ガス規制前の駆け込み需要により油圧ショベルなどが伸びて4-9月の国内建設機械出荷額は前年比10.5%の増加（日本建設機械工業会）。	
海外	小型屋外作業機械 (OPE)	●北米市場：実需は堅調も、天候に恵まれず刈払機が大幅減少。	
		●中南米市場：政情不安・経済問題が継続しているものの、機械需要は増加。	
		●欧州市場：西欧は多雨、低温やオリーブの不作がみられたものの、原油価格の回復などに伴いロシアが復調。	
	農業用管理機械	●北米市場：穀物価格低迷の影響などにより、引き続き大型機械は販売が低迷。	

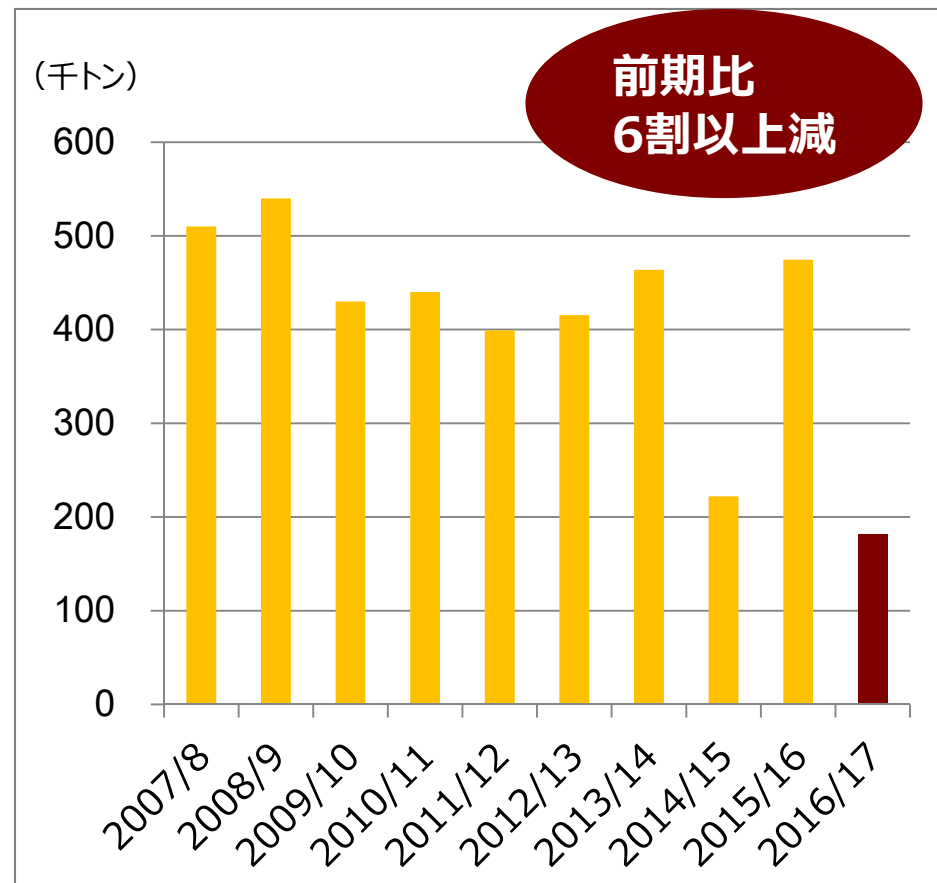
北米は需要期に多雨が続き、西欧（伊国）はオリーブの不作が影響

米国の降水量平年比
(2017年4月～6月)



出典：National Oceanic and Atmospheric Administration ウェブサイト

イタリアのオリーブオイル年間生産量実績推移
(2007年10月～2017年9月の年次ベース)



参考：International Olive Council ウェブサイト情報を基に当社作成

2017年12月期第2四半期 経営成績



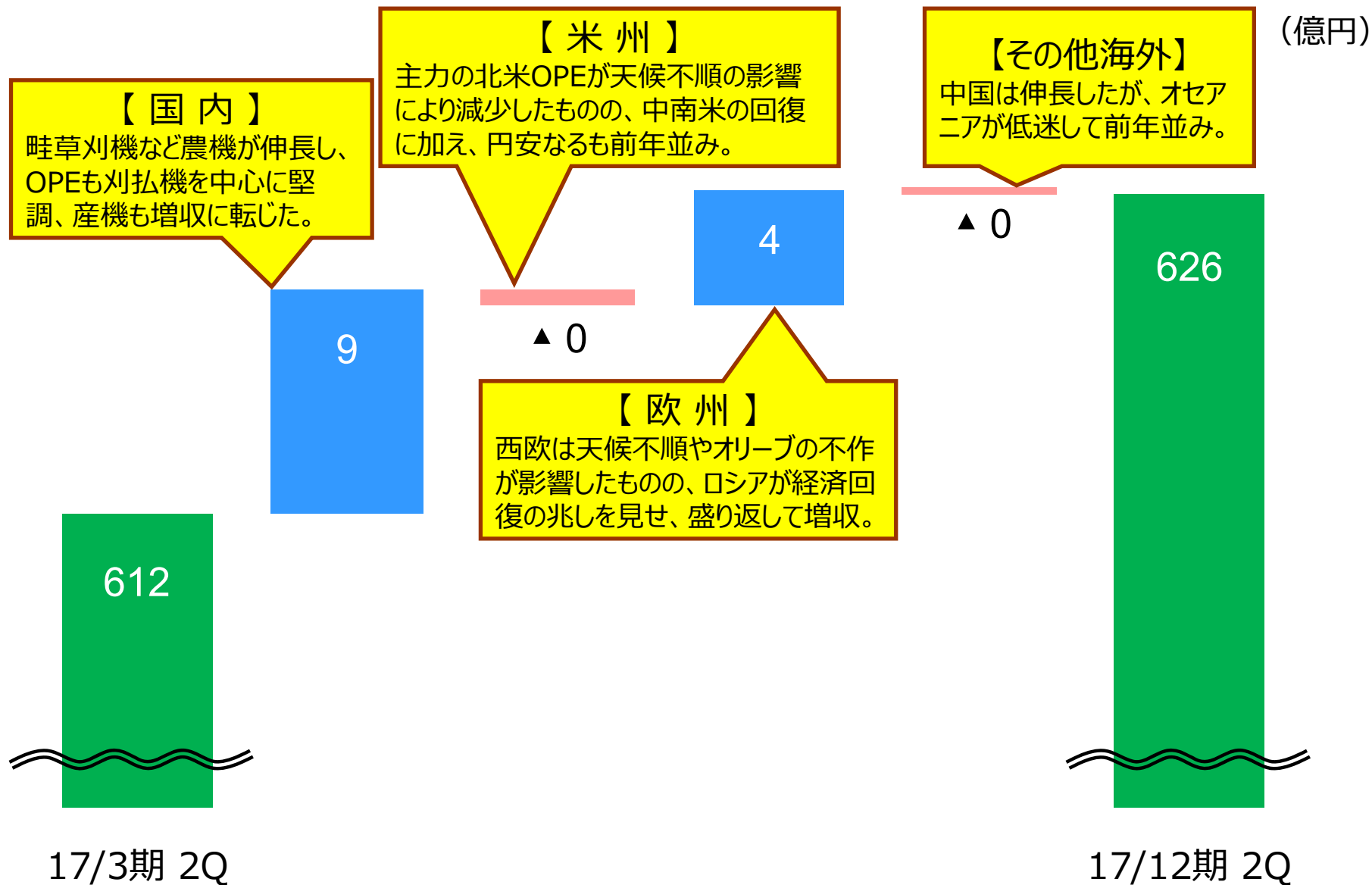
(百万円)	17/3期 2Q		17/12期 2Q		前期比 (%)
		構成比 (%)		構成比 (%)	
売上高	61,277	100.0	62,666	100.0	+ 2.3
売上原価	42,556	69.4	44,427	70.9	+ 4.4
販管費	13,110	21.4	13,662	21.8	+ 4.2
営業利益	5,610	9.2	4,577	7.3	▲ 18.4
経常利益	4,354	7.1	5,000	8.0	+ 14.8
親会社株主に帰属 する当期純利益	2,720	4.4	3,679	5.9	+ 35.3

為替レート ※期初の想定為替レートは1ドル110円、1ユーロ120円。

1ドル	当社レート	107 円	111 円	+ 3.6
	米国子会社 換算レート	112 円	112 円	+ 0.6
1ユーロ		120 円	125 円	+ 4.1

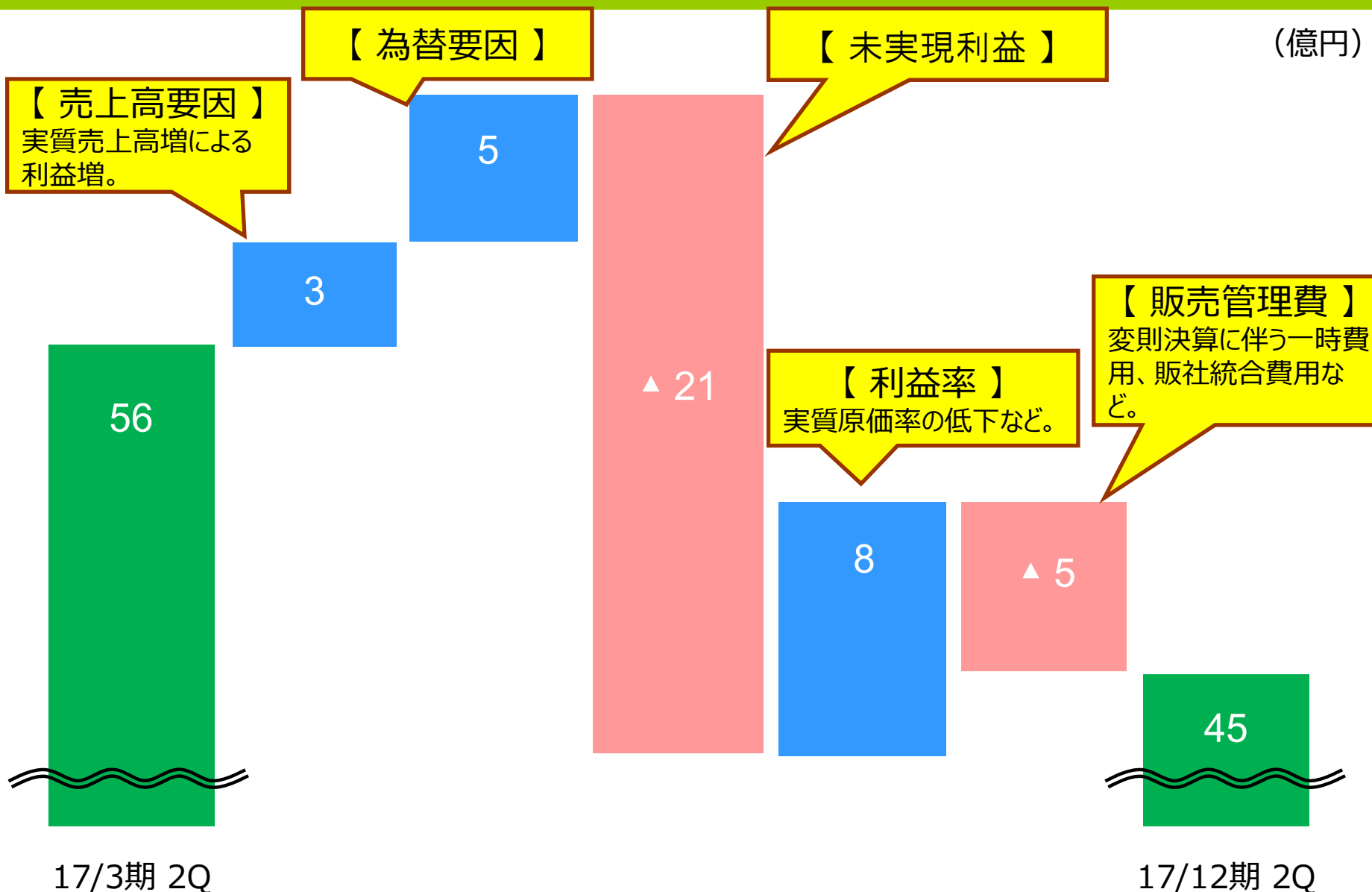
- ✓ 売上高は天候不順の影響により最大市場の米国などで低迷したものの、円安に加えてロシアの回復や中国のOPEが好調を続け、国内も引き続き好調に推移して過去最高の実績。
- ✓ 営業利益は在庫に関わる未実現利益が利益を大きく圧迫して減益。為替差益の発生などで経常増益。最終利益は前期に発生した特別損失が無くなり増益。

連結売上高の増減



連結営業利益の増減

(億円)



セグメント別経営成績

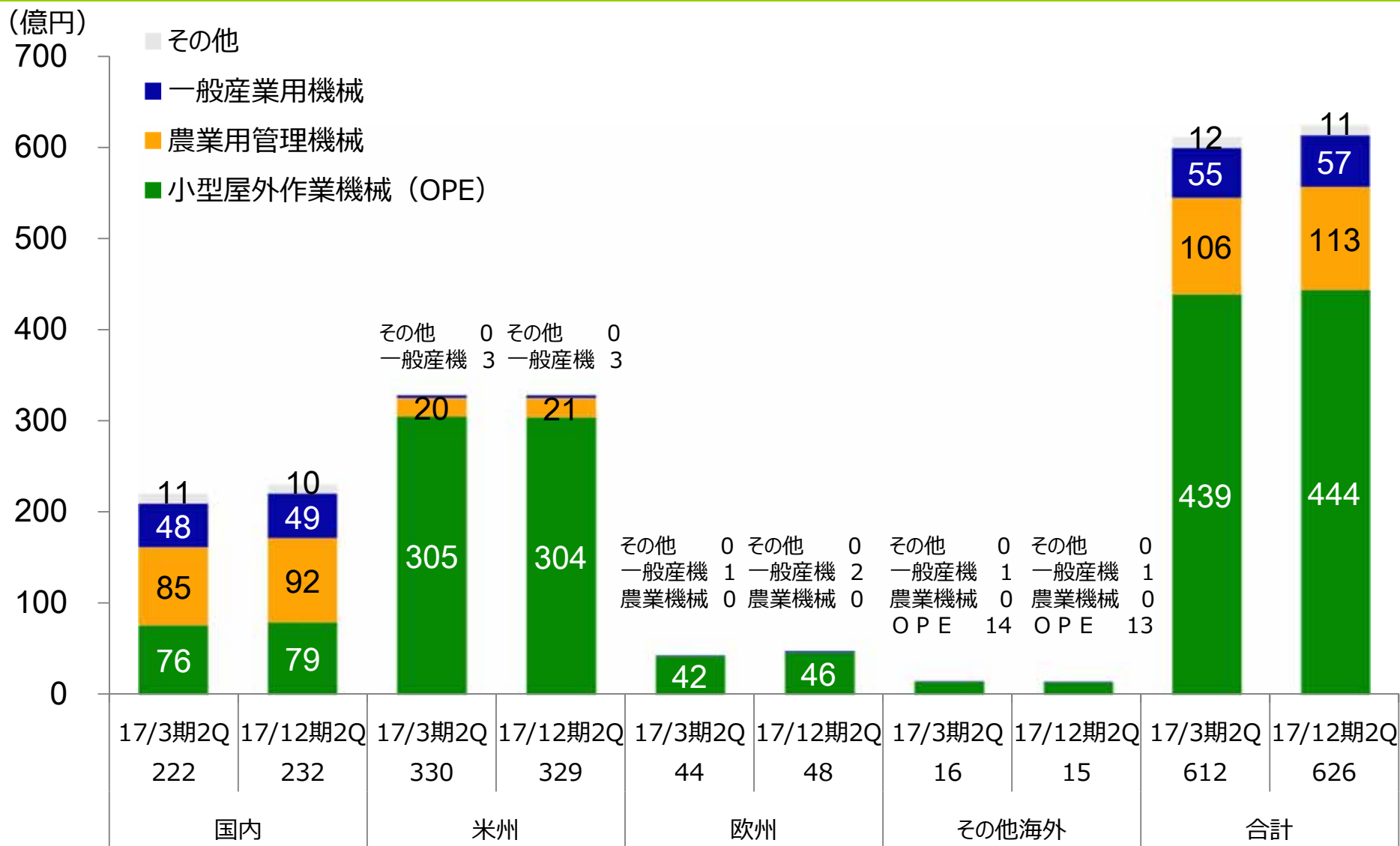


(百万円)	17/3期 2Q ^{※1}		17/12期 2Q		
		構成比 (%)		構成比 (%)	前期比 (%)
売上高	61,277	100.0	62,666	100.0	+ 2.3
小型屋外作業機械	43,911	71.7	44,453	70.9	+ 1.2
農業用管理機械	10,619	17.3	11,380	18.2	+ 7.2
一般産業用機械	5,502	9.0	5,721	9.1	+ 4.0
その他	1,244	2.0	1,111	1.8	▲ 10.6
営業利益	5,610	-	4,577	-	▲ 18.4
小型屋外作業機械 ^{※2}	8,240	146.9	7,429	162.3	▲ 9.8
農業用管理機械 ^{※2}	▲ 26	▲ 0.5	▲ 115	▲ 2.5	-
一般産業用機械	▲ 72	▲ 1.3	▲ 1	0.0	-
その他	310	5.5	245	5.4	▲ 20.8
全社共通費	▲ 2,842	-	▲ 2,980	-	-

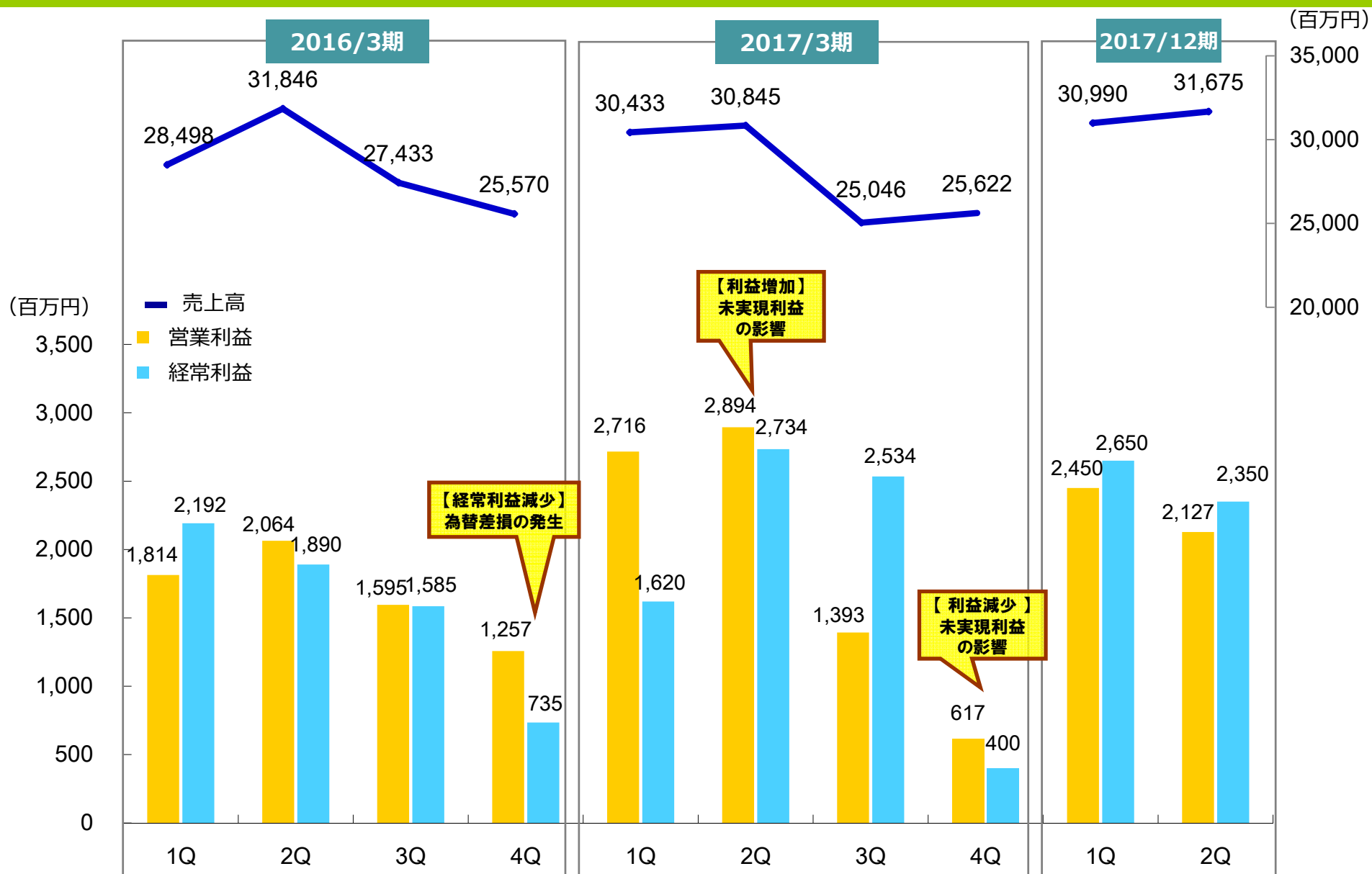
※1. 17/12期よりセグメント内容を変更したため、17/3期実績を組替再表示しています（未監査）。

2. 17/12期より報告セグメントを従来の「小型屋外作業・農業用管理機械」、「一般産業用機械」の2区分から、「小型屋外作業機械」、「農業用管理機械」、「一般産業用機械」の3区分に変更しております。

セグメント別地域別売上高実績



四半期別 業績推移



2. 2017年12月期 業績見通し

8月ハービー、9月イルマの上陸に伴い、復旧用機材として、チェーンソーや発電機の需要が大幅に増加。

チェーンソー出荷台数（9月単月） 前年同月比85%増 《米国子会社実績》



2017年12月期（通期） 予想



(百万円)	17/3期 調整後実績 (未監査) 【9ヶ月】※		17/12期 修正予想 【9ヶ月】			17/12期 前回予想 【9ヶ月】 8月10日発表
		構成比 (%)		構成比 (%)	調整後 前期比 (%)	
売上高	98,021	100.0	102,000	100.0	+ 4.1	100,000
売上原価	68,745	70.1	72,700	71.3	+ 5.8	71,000
販管費	21,306	21.7	23,000	22.5	+ 8.0	23,000
営業利益	7,970	8.1	6,300	6.2	▲ 21.0	6,000
経常利益	7,861	8.0	6,700	6.6	▲ 14.8	6,100
親会社株主に帰属 する当期純利益	3,128	3.2	5,100	5.0	+ 63.0	4,400

為替レート 今後の想定為替レートは1ドル110円、1ユーロ130円。

1ドル	当社レート	107 円	111 円	+ 3.7	110 円
	米国子会社 換算レート	109 円	111 円	+ 2.4	111 円
1ユーロ		119 円	126 円	+ 6.3	120 円

- ✓ 国内売上は堅調、主力の北米はハリケーン関連需要が見込まれるほか、円安の影響などにより増収見込。
- ✓ 為替差益の発生や前期計上の特別損失が無くなり、最終利益は9ヶ月の変則決算ながら大幅増益の見込。
- ✓ 前回（8月10日）予想から売上、利益ともに上方修正。

※17/12期の業績予想は、2017年4月から12月の9ヶ月間の予想数値となるため、17/3期実績を9ヶ月（2016年4月から12月）の期間に調整して比較しております。

連結売上高の増減（予想）

（凡例） 3 ⇒ 10 ⇒ 8

- 2017年5月12日 業績予想
- 2017年8月10日 業績予想修正
- 2017年11月10日 業績予想修正

【米州】
北米のOPEは需要期前半の天候不順の影響を受けたが、ハリケーン関連需要や為替の影響により増収を見込む。

【その他海外】
オセアニアが落ち込むものの、中国のOPEが順調、農機の販売も加わり増収。

（億円）

【国内】
好調な農機を中心に増収を見込む。

35 ⇒ 7 ⇒ 28

2 ⇒ ▲1 ⇒ ▲2

8 ⇒ 3 ⇒ 5

【欧州】
ロシアが復調するも、西欧の天候不順の影響により減収を見込む。

1,030 ⇒ 1,000
⇒ 1,020

980

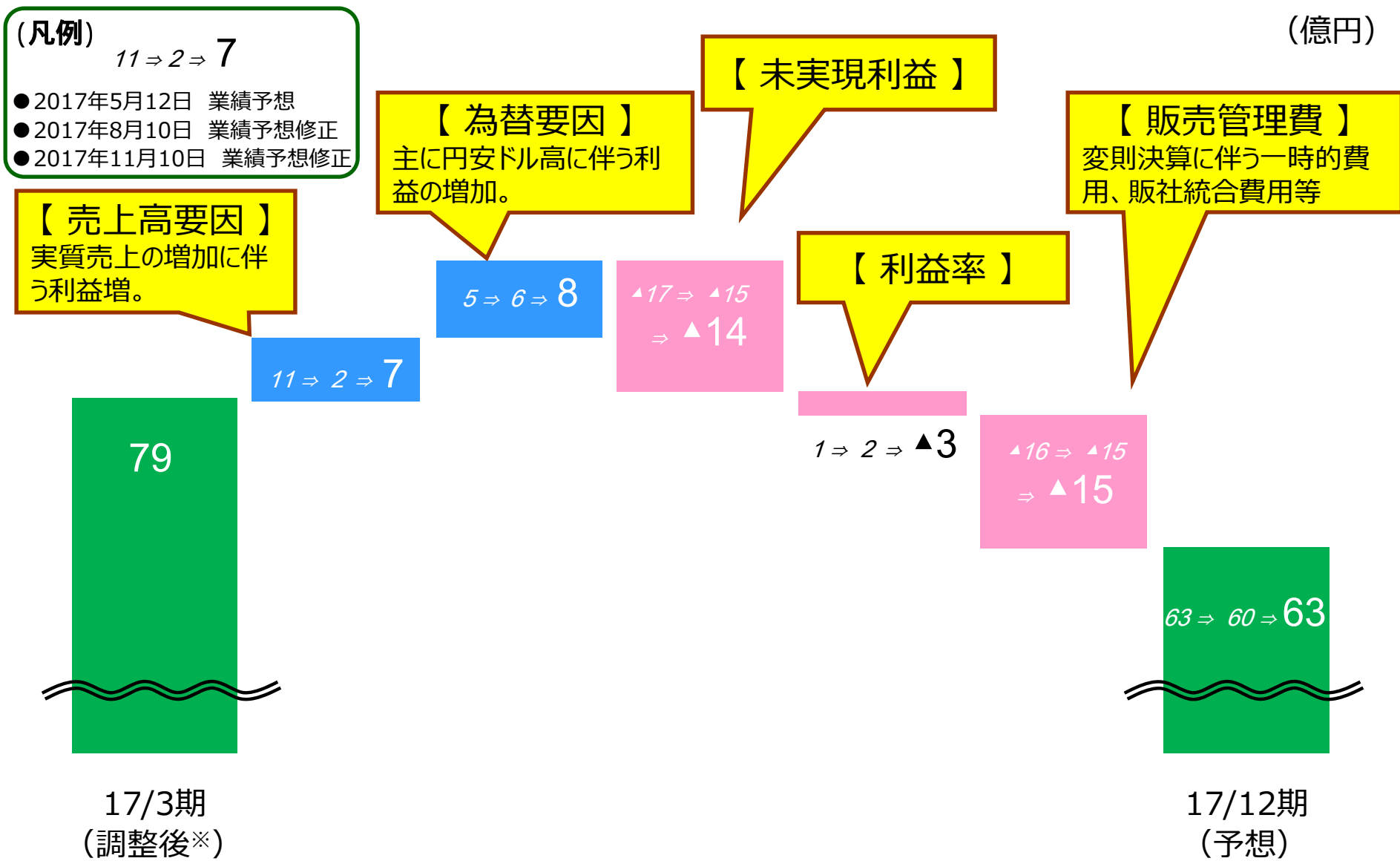
17/3期
（調整後※）

17/12期
（予想）

※17/12期の業績予想は、9ヶ月間の予想数値となるため、17/3期実績を9ヶ月の期間に調整して比較しております。

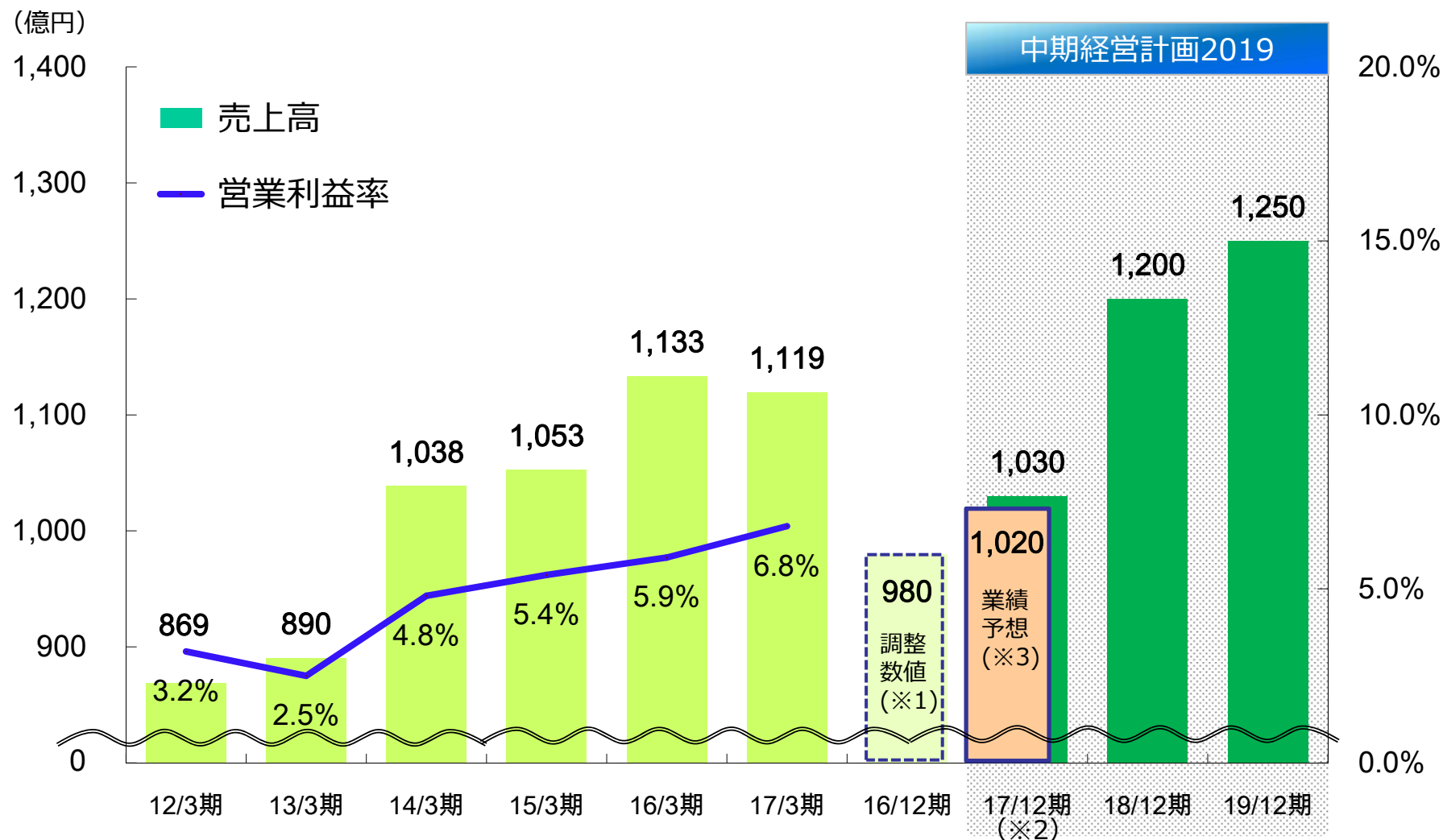
連結営業利益の増減（予想）

(億円)



※17/12期の業績予想は9ヶ月間の予想数値となるため、17/3期実績を9ヶ月の期間に調整して比較しております。

中期経営計画2019年次推移



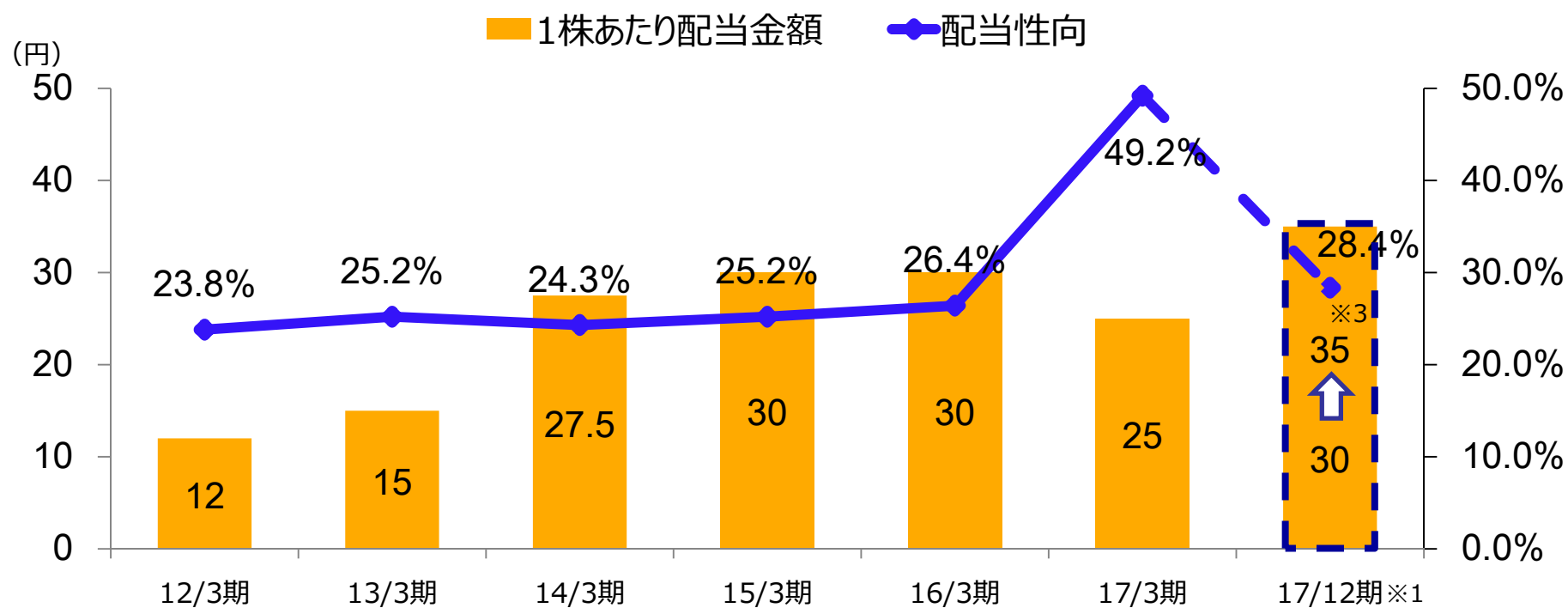
※1. 16/12期は比較参考用の調整数値であり、監査法人による監査は受けておりません。

※2. 17/12期は決算期変更のため、9ヶ月決算となります。

※3. 11月10日業績予想修正

株主還元

- 安定配当の継続
- 連結配当性向25%以上
- 今期は9ヶ月決算ながら増配予定



※1. 17/12期は決算期変更のため、9ヶ月決算となります。
 ※2. 2015年10月1日付で株式分割を行っております。各期を比較しやすいように、株式分割考慮後の金額を記載しております。
 ※3. 11月10日配当予想修正

添付資料

株式会社やまびこ 会社概要

『やまびこ』の概要



会 社 名	株式会社やまびこ (YAMABIKO CORPORATION)
設 立	2008年12月1日
本 社	東京都青梅市末広町一丁目7番地2
売 上 高	111,945百万円 (2017年3月期連結)
資 本 金	6,000百万円
決 算 期	12月31日※1
連 結 子 会 社 数	17社 (国内10社※2・海外7社／2017年3月末現在)
従 業 員 数	3,117名 (2017年3月末現在／連結)
上 場 市 場	東京証券取引所第一部
証 券 コ ー ド	6250
発 行 済 株 式 総 数	44,108,428株 (2017年3月末現在)
単 元 株 式 数	100株

※1. 2017年度より、決算期を3月31日から12月31日に変更いたしました。

2. 2017年4月1日付で国内販売子会社7社が合併（合併後の国内連結子会社は4社）。

	 株式 会社 共立	新ダイワ工業株式会社
設立(創業)	1947年(昭和22年)	1952年(昭和27年)
取扱ブランド	  国内の農林業機械 全世界の小型屋外作業機械	 全世界の小型屋外作業機械・一般産業用機械

《 資本提携以前の小型屋外作業機械 (OPE※) 市場の状況 》

- ★ 欧米 (特にアメリカ) の排出ガス規制への技術的対応
- ★ グローバルレベルでの業界再編・競争激化
- ★ 新興国企業の廉価攻勢
- ★ 顧客ニーズの多様化

《 資本提携・共同持株会社設立・合併までの経緯 》

2007年 5 月 業務・資本提携基本契約締結

2008年12月 共同持株会社『やまびこ』設立

2009年10月 『やまびこ』が 共立 および 新ダイワ工業 を吸収合併し事業会社化

＜社名の由来＞ 山の神様である「山彦」を社名に掲げ、自然と環境の育成、整備への貢献を理念に持つ会社姿勢の象徴とする。

※Outdoor Power Equipment



(注)2017年12月期より、事業セグメント内容の一部を変更しております。

長年にわたる蓄積

技術力・生産能力・ネットワーク

合併シナジー顕在化

ラインナップ・販路の拡大



15ヶ国・115回におよぶ
サービススクールの実施
(2015/4~2017/3)

充実したテクニカル
サポート体制

米国EPA※認証数トップクラス
エンジン

固有の
研究・開発力

3つの事業

ラインナップ
販売ネットワークの拡大

世界90ヶ国以上
2万8千店舗

高い製品シェア
例) 小型屋外作業機械(OPE)
世界: 約10% / 日本: 30%以上

鉄めっき・放電加工

独自の生産技術力
一貫生産能力

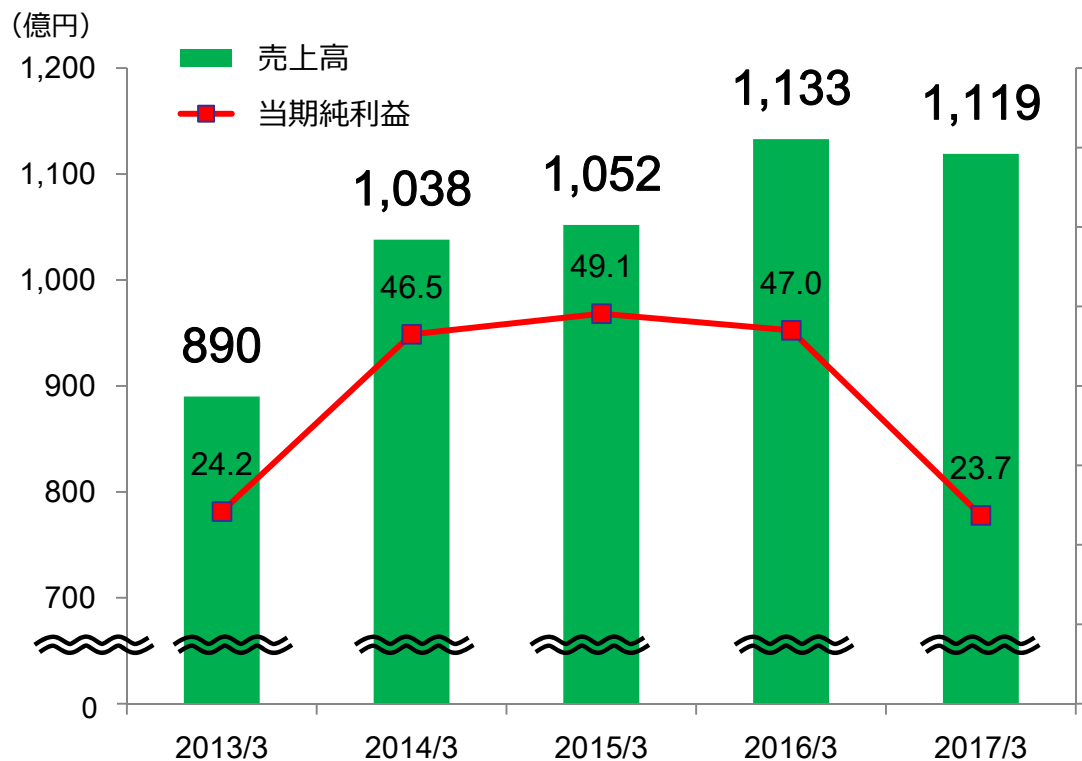
鋳造→熱処理
→機械加工→組立

“グローバル”での“高い競争力”を実現

※米国環境保護庁 当社調べ

為替の影響を受けながらも着実に業績向上 / 海外売上高が60%超

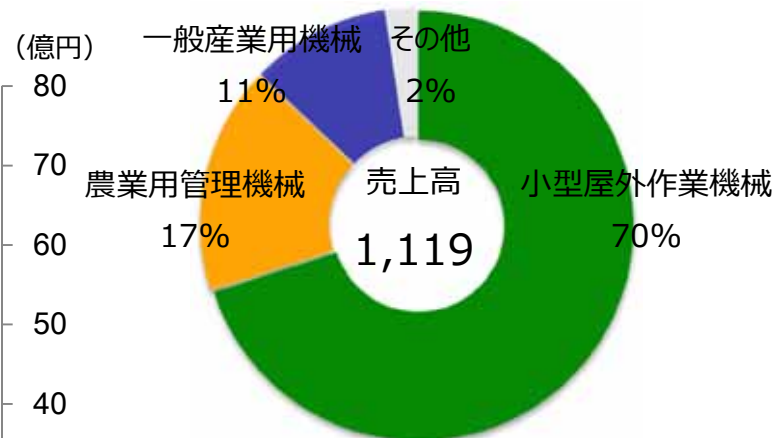
売上高推移



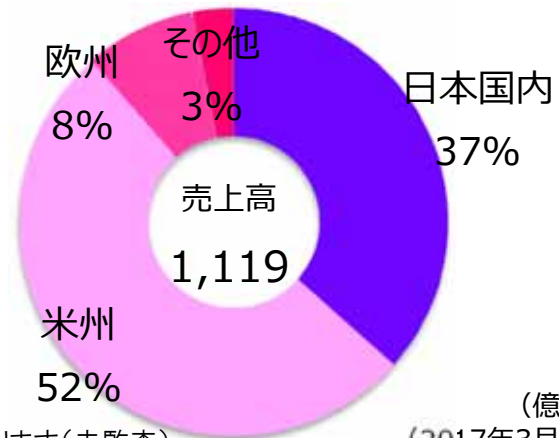
1ドル	80	100	110	121	109
1ユーロ	109	134	139	132	120

(ドルは米国子会社換算レート)

事業別売上高



地域別売上割合



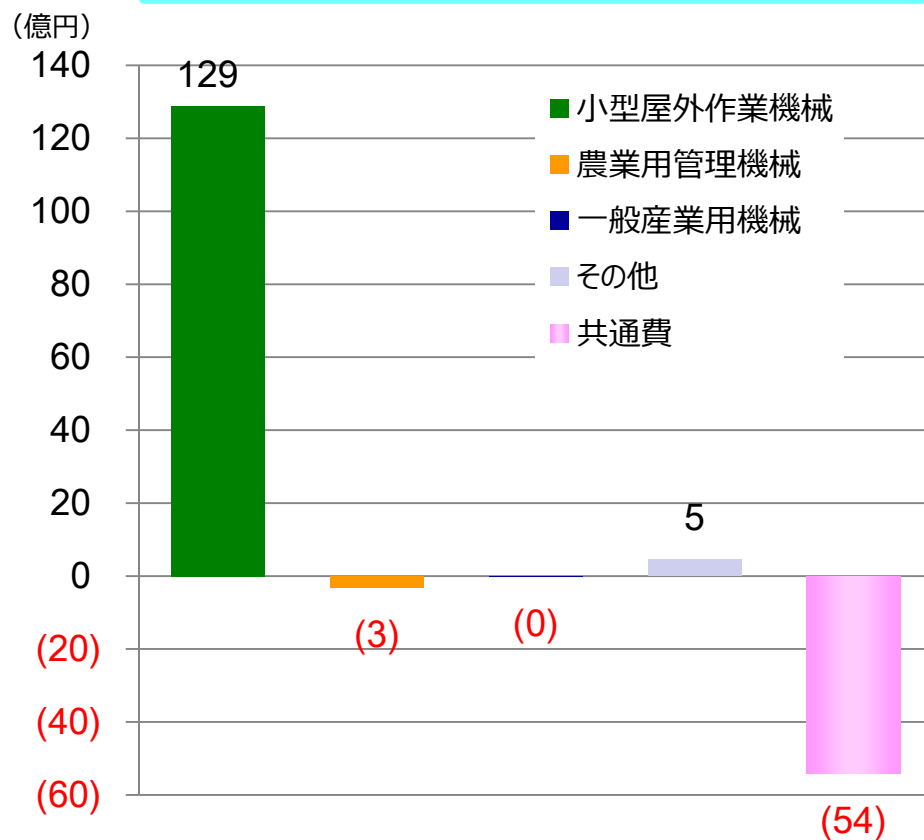
(億円)
(2017年3月期)

(注)2017年12月期より、事業セグメント内容の一部を変更したため、2017年3月期実績を組替再表示しております(未監査)。

小型屋外作業機械（OPE）の収益性の高さが特長

営業利益構成

営業利益：76億円（2017年3月期）



OPEの主力製品（刈払機）・アクセサリ・スペアパーツの例



(注)2017年12月期より、事業セグメント内容の一部を変更したため、2017年3月期実績を組替再表示しております(未監査)。

補足資料

セグメントの概要

セグメント（事業）	概要
小型屋外作業機械(OPE※)	「手で持つ」もしくは「背負って」使用する小型エンジンを搭載した機械の製造販売、欧州を中心に展開するロボット芝刈機の製造販売
農業用管理機械	国内における防除機械、北米における農作物収穫機械の製造販売
一般産業用機械	建設・土木・鉄工用機械の製造販売
その他	上記に含まれない商品など

主要製品

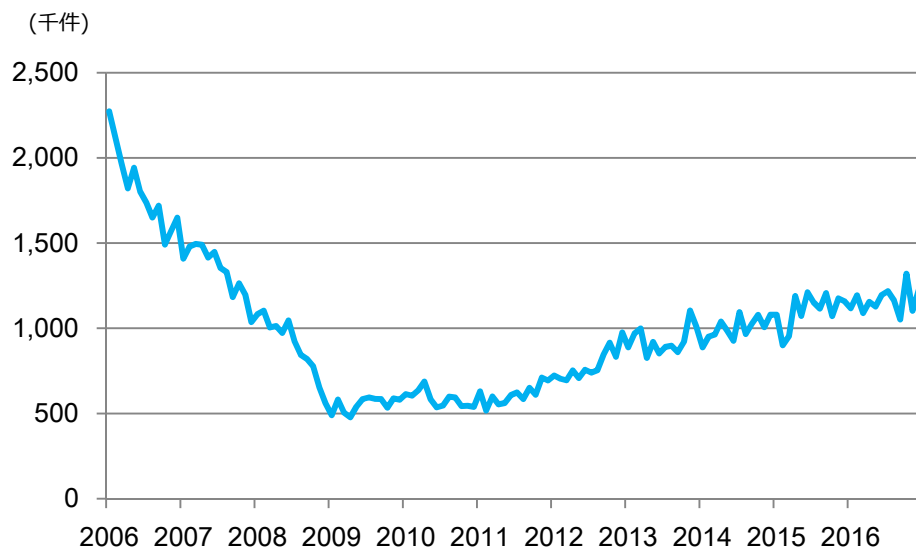
セグメント（事業）	主要製品
小型屋外作業機械(OPE※)	刈払機、チェーンソー、パワーブロワ、ヘッジトリマー、ロボット芝刈機
農業用管理機械	防除機（動力噴霧機、スピードスプレーヤ、乗用管理機）、畦草刈機、大豆収穫機
一般産業用機械	発電機、溶接機、投光機、切断機、高圧洗浄機
その他	自動車用試作部品、除雪機

(注) 2017年12月期より、事業セグメント内容の一部を変更しております。

※Outdoor Power Equipment

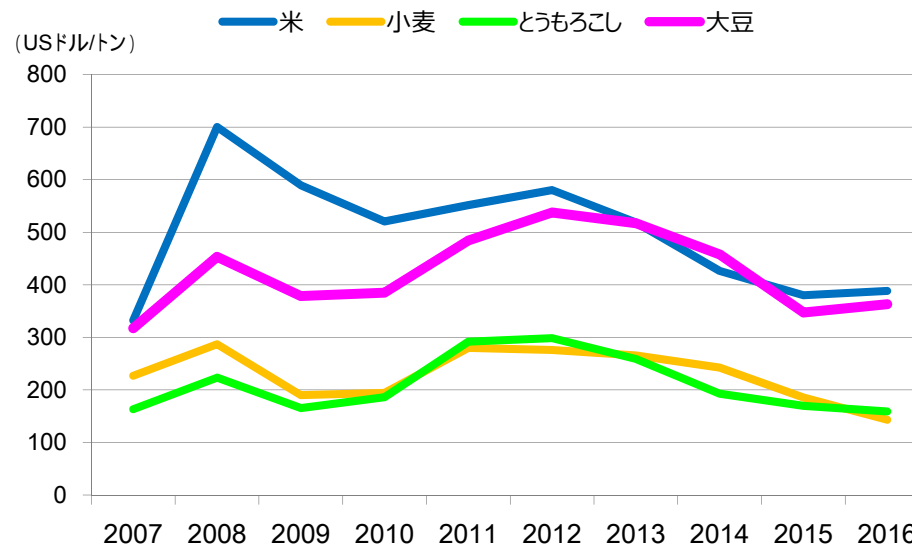
事業	関連指標等
小型屋外作業機械(OPE)	北米：住宅着工件数 等 南米：穀物価格（大豆、トウモロコシ、コーヒー） 等 露：原油価格 等
農業用管理機械	米国：穀物価格（大豆、トウモロコシ） 等
一般産業用機械	北米：原油価格 等

米国住宅着工件数
(季節調整済年率換算値)



U.S.Census Bureau: New Residential Construction

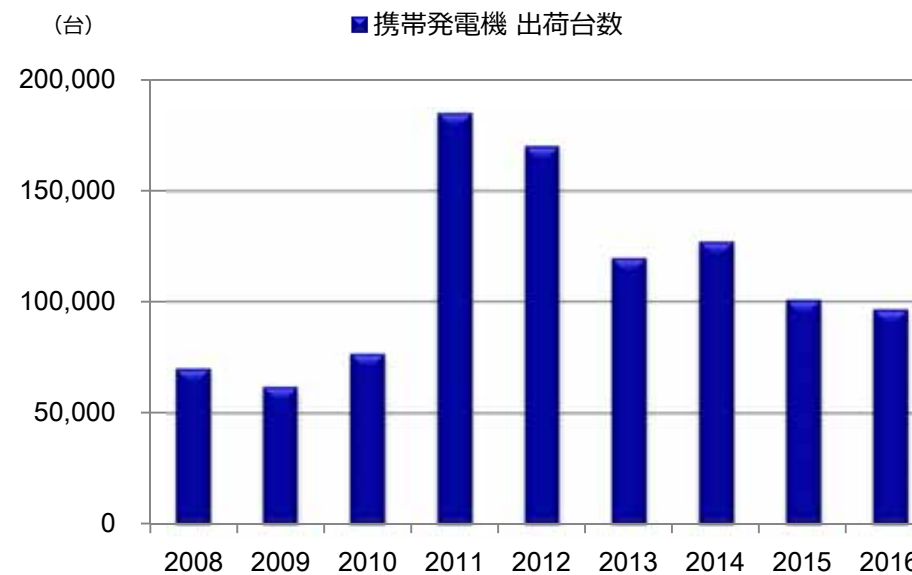
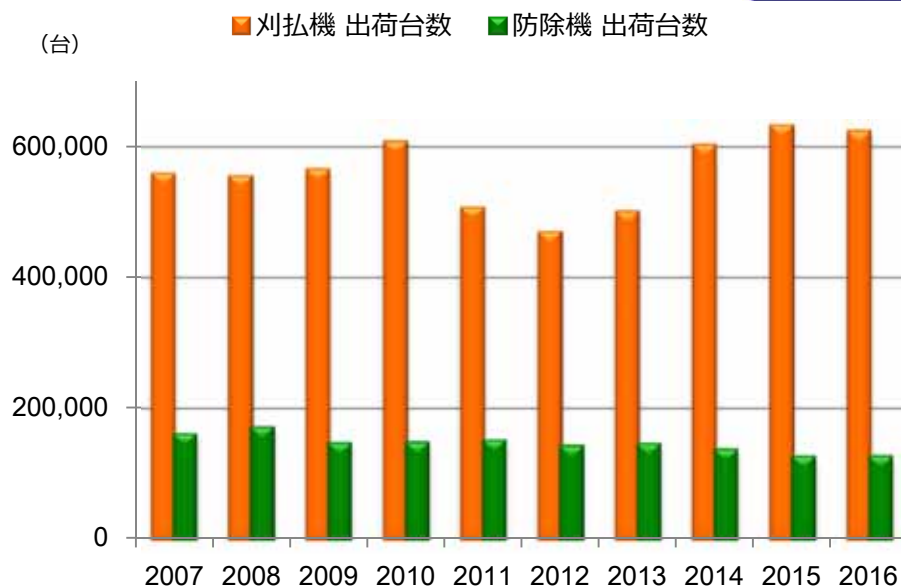
穀物価格



IMF - Primary Commodity Prices

事業	関連指標等
小型屋外作業機械 (OPE)	(一社) 日本農業機械工業会出荷実績 (刈払機)、米価 等
農業用管理機械	(一社) 日本農業機械工業会出荷実績 (防除機)、米価 等
一般産業用機械	(一社) 日本陸用内燃機関協会 (携帯発電機)、(一社) 日本建設機械工業会出荷金額統計 (その他建設機械)、建設関連業等の動態調査報告、工作機械受注高 等

出荷実績



注：会員企業の入退会に伴い、2014年4月より報告会社数が変更。(防除機：7社→6社、刈払機：11社→12社)
(一社) 日本農業機械工業会出荷実績

(一社) 日本陸用内燃機関協会携帯発電機研究会集計 (3kVA以下)

当社の強み① 小型エンジンの開発力・生産力 (一貫生産体制)



チェンソー



刈払機



パワーブロワ



ヘッジトリマー

小型エンジンを搭載した小型屋外作業機械

高い開発力

長年にわたるノウハウの蓄積

顧客ニーズにきめ細かに対応可能

高性能・高耐久・高品質エンジン

小型・軽量・高出力
(手持機械に最適)

環境対応エンジン認証数
業界トップクラス

小型エンジンに必要な技術を保有

2ストローク

2ストローク
(層状)

4ストローク
(混合)

4ストローク
(分離)

当社の強み② 販売ネットワーク

2016年実績



世界 90ヶ国以上 / 2万8千店の販売ネットワーク

国内



動力噴霧機



乗用管理機



スピードスプレーヤ

海外



大豆収穫機



ジャガイモ収穫機

技術的な強み

国内： 共立の創業時の理念「食糧増産による社会貢献」を礎に長年にわたって蓄積してきた送風技術・噴霧技術・ポンプ技術。

海外： 収穫効率向上のための送風技術（特許）。機器の軽量化・小型化の技術。

やまびこノズルの噴霧状態（扇形状）
（平均粒子径 110～270 ミクロン）



ドリフトが少ない

農薬飛散を低減させる
やまびこ自社開発ノズル



効果的な農薬散布を
可能にした整流機構



エンジン溶接機



ディーゼルエンジン発電機



ガソリンエンジン発電機

技術的な強み

新ダイワ工業の創業時から蓄積されたA Cモータ開発技術を進化・発展させた発電機設計技術・電子制御技術・防音技術。



世界初の三相/単相3線切替なし
同時出力可能 (米国特許・国内
特許取得済み)



防音技術

小型屋外作業機械 (OPE)

開発本部研究開発部

先行技術・要素技術の研究・開発および解析業務

開発本部開発第一部

製品の設計・開発

開発本部開発第二部

電動製品の設計・開発

開発本部実験部

製品の試験

エコー・インコーポレイテッド
(米国)

用途開発・製品実験

やまびこヨーロッパ・エス・エイ
(ベルギー)

ロボット芝刈機の設計開発

《開発の重点》

- グローバルレベルでのエンジン排出ガス規制対応
- 北アメリカでの燃料透過規制対応
- ヨーロッパでの騒音および振動規制対応
- 小型軽量化・低騒音・低燃費・耐久性向上・安全性向上

(注) 2017年12月期より、事業セグメント内容の一部を変更しております。

農業用管理機械

農業機械本部開発第一部・開発第二部

農業用管理機械などの設計・開発

クレイリー・インダストリーズ (米国)

チッパーシュレッダー・大型農業機械などの開発

クレイリー・アグリカルチャル・ソリューションズ・エル・エル・シー (米国)

農業用排水管理設機械の開発

《開発の重点》

- ドリフト対策・適量散布・高性能化・操作性簡便化

一般産業用機械

産業機械本部開発部門
発電機、溶接機などの
設計開発

《開発の重点》

- 小型軽量化・低騒音
・高性能・高機能
・低燃費

電子・電気制御

電子制御研究所

電子・電気制御技術の研究

《研究の重点》

- 電子制御化

● 生産本部横須賀事業所

小型屋外作業機械の製造（鋳造・金属処理・機械加工・組立 等）

● 生産本部盛岡事業所

小型屋外作業機械の製造（機械加工・塗装・組立 等）

防除機の製造（板金・塗装・組立 等）

※ 防除機の搭載エンジンは他メーカーからの調達

● 生産本部広島事業所

小型屋外作業機械の製造（機械加工・組立等）

発電機・溶接機・電動工具の製造（組立 等）

※ 発電機等の搭載エンジンは他メーカーからの調達

● 生産関連子会社

追浜工業株式会社（横須賀市）：電装部品・歯車

双伸工業株式会社（青梅市）：樹脂部品

株式会社ニューテック（長野市）：鋳造部品

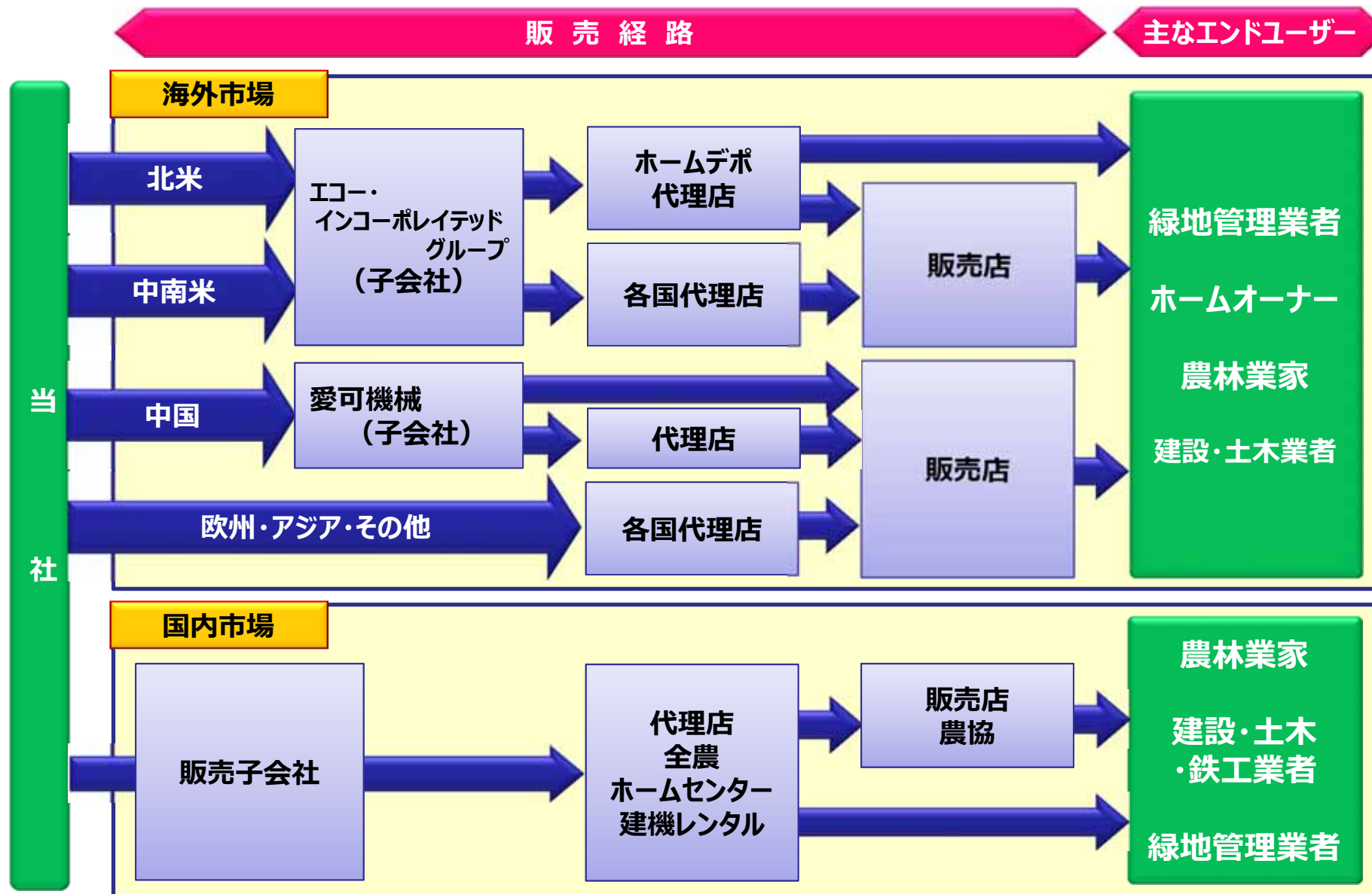
やまびこエンジニアリング株式会社（安芸高田市）：板金加工



- **エコー・インコーポレイテッド（アメリカ イリノイ州）**
小型屋外作業機械の製造 ※エンジンおよび一部部品は当社国内工場から支給
- **クレイリー・インダストリーズ（アメリカ ノースダコタ州）**
チップーシュレッダー・大型農業機械等の製造
- **クレイリー・アグリカルチャル・ソリューションズ・エル・エル・シー（アメリカ ミネソタ州）**
農業用排水管理設機械の製造
- **クイック・プロダクツ・インク（アメリカ アリゾナ州）**
当社製品のスペアパーツ等の製造
- **やまびこヨーロッパ・エス・エイ（ベルギー ブラバン・ワロン州）**
ロボット芝刈機の製造
- **愛可機械（深圳）有限公司（中華人民共和国 広東省）**
小型屋外作業機械の製造 ※エンジンおよび一部部品は当社国内工場から支給
- **蘇州山彦農機有限公司（中華人民共和国 江蘇省）**
農業用管理機械の製造 ※搭載用エンジンは他メーカーから調達、一部部品は当社国内工場から支給
- **やまびこベトナム（ベトナム トゥーザウモット市）**
一般産業用機械の部品製造



主な販売経路



販売店

主なエンドユーザー

海外市場



海外における販売店ではブランド別に製品を展示。販売員が、エンドユーザーのニーズを聞きながら対面販売。



ホームセンターにおいては各機種群別・価格別に製品を展示。エンドユーザーはニーズや予算およびCM等で得たイメージをもとに購入する。



海外市場

緑地管理業者

ホームオーナー

農林業者

建設・土木業者

国内市場



販売店や代理店と協力しながら展示会を実施し、実演や試乗を通じて販売。
販売店と共にエンドユーザーを訪問しユーザーのニーズを捉えたうえで、製品を販売。

国内市場

農林業家

建設・土木
・鉄工業者

緑地管理業者

主なグループ会社の状況（2017年8月1日現在）



		小型屋外作業機械 (OPE)	農業用管理機械	一般産業用機械
海外	生産 販売	エコー・インコーポレイテッド やまびこヨーロッパ・エス・エイ 愛可機械	クレイリー・インダストリーズ クレイリー・アグリカルチャル ・ソリューションズ・エル・エル・シー	エコー・インコーポレイテッド
	生産	クイック・プロダクツ・インク	蘇州山彦農機	やまびこベトナム
	販売	ゴールデンイーグル ディストリビューティング		
国内	生産 販売	ニューテック		
	販売	やまびこジャパン		
	生産	追浜工業 双伸工業		やまびこエンジニアリング

人と自然と 未来をつなぐ

私たちやまびこグループは、事業の発展を通じて、
世界中の自然環境と、共に歩む全ての人の
美しい未来をつくる、そんな企業を目指します。

この資料には、当社の現在の計画や業績見通しなどが含まれております。それら将来の計画や予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに、当社が計画・予測したものであります。実際の業績などは、今後の様々な条件・要素によりこの計画などとは異なる場合があります、この資料はその実現を確約したり、保証するものではありません。

【お問い合わせ先】

株式会社やまびこ

総務部株式 I R 課

〒198-8760 東京都青梅市末広町1-7-2
TEL : 0428-32-6111 FAX : 0428-32-6143
e-mail : ir6250@yamabiko-corp.co.jp